

児童発達支援又は放課後等デイサービス事業に係る自己評価結果公表用

公表日： 2023年10月30日

事業所名：心の輝きぐるっぽcocoai

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
環境・ 体制整備	1	利用定員に応じた指導訓練室等スペースの十分な確保	65.48㎡の広さがあり、ベッドの配置、遊びやリハビリスペースの確保も行っている。	はい…8名 わからない…3名	今後も安全に配慮し継続していく。
	2	職員の適切な配置	人員基準を遵守し、支援の質を高める為、加配人員の配置を行っている。	はい…6名 わからない…5名	今後も継続して人員配置基準を遵守し支援を行っていく。
	3	本人にわかりやすい構造、バリアフリー化、情報伝達等に配慮した環境など障害の特性に応じた設備整備	バリアフリーで車いすでもそのまま室内に入れる。すべての児童がどこからも見渡せるように環境を整えている。	はい…7名 わからない…4名	今後も継続して環境を整えていく。
	4	清潔で、心地よく過ごせ、子ども達の活動に合わせた生活空間の確保	児童が使うものは毎日洗濯し、消毒を行っている。ベッドを2台配置し、フロアではさまざまな活動を行えるようにしている。	はい…8名 わからない…3名	引き続き清潔を保持し子どもたちにとって最適な環境を整える努力をしていく
業務改善	1	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)への職員の積極的な参画	業務の伝達や振り返りを毎日行い職員間での意見交換を日々行っている。	/	職員間での連携を深め、日々の振り返りと共に業務の改善を進めていく。
	2	第三者による外部評価を活用した業務改善の実施	第三者評価は行っていない。	/	外部機関との連携も含め、今後も業務改善に努めていく
	3	職員の資質の向上を行うための研修機会の確保	社内研修の実施。また、スキルアップを目指し、社外研修への参加も実施している。	/	今後も継続し、サービスの質の向上のため職員の研修を行っていく
適切な支援の	1	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の作成	保護者へのアセスメントにそった支援計画を作成している。	はい…7名 わからない…4名	保護者のニーズや課題に沿った計画の作成に努める。
	2	子どもの状況に応じ、かつ個別活動と集団活動を適宜組み合わせた児童発達支援又は放課後等デイサービス計画の作成	それぞれの児童の発達に応じ療育活動等を計画作成し実施している。	はい…8名 わからない…3名	児童の発達に応じた療育活動の計画を作成していく

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
提供	3 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画における子どもの支援に必要な項目の設定及び具体的な支援内容の記載	各児童の障害特性をふまえ、必要な支援内容を個別計画に記載している。	はい・・・7名 わからない・・・4名	特性をふまえ、個人に沿った支援ができるよう支援内容を継続し記載していく
適切な支援の提供(続き)	4 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画に沿った適切な支援の実施	具体的に明示できるような内容を考えて計画が作成できるよう努めている。		特性をふまえ、個人に沿った支援ができているか常時見直しを行い計画していく
	5 チーム全体での活動プログラムの立案	保育士が中心となり、各児童の計画書にそって事業所スタッフ全体で活動プログラムを立案している。		個々の児童の課題を職員間で共有し、見直しを図りながらプログラムを計画していく
	6 平日、休日、長期休暇に応じたきめ細やかな支援	平日、休日、長期休暇に応じ、児童発達支援、放課後デイサービス共に日常生活支援や療育活動を行っている。		今後は郊外活動も計画していく
	7 活動プログラムが固定化しないような工夫の実施	季節に応じたイベントや療育活動等を行い固定化しないよう工夫している。	はい・・・5名 どちらともいえない・・・1名 わからない・・・5名	今後も継続してプログラムが固定化しないように工夫していく
	8 支援開始前における職員間でその日の支援内容や役割分担についての確認の徹底	朝のミーティングによって支援活動、役割分担等の確認を行っている。		引き続き、支援開始前の確認を職員間で徹底して支援を行っていく
	9 支援終了後における職員間でその日行われた支援の振り返りと気付いた点などの情報の共有化	日報を記録し、職員間にてその日の振り返り、情報共有を行っている。		記録を作成し、職員間で情報共有を行い日々の支援につなげる
	10 日々の支援についての正確な記録の徹底や、支援の検証・改善の継続実施	個人記録を作成し、改善が必要な支援があれば会議を行い改善していくよう支援方法を職員間で徹底する。		日々の記録の作成を今後も徹底して行い、支援の検証、改善をおこなっていく

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
	11	定期的なモニタリングの実施及び児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の見直し	6ヶ月に1回実施。必要に応じて適宜実施する。		今後も職員全員で会議を行いモニタリングや計画の見直しに必要な支援を話合う
関係機関との連携	1	子どもの状況に精通した最もふさわしい者による障害児相談支援事業所のサービス担当者会議へり参画	サービス担当者会議には児童発達支援管理責任者、看護師等が必ず出席している。		サービス担当者会議には必ず参加している
	2	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援の実施	学校や障害福祉等と、各児童の支援をよりよい支援にするために学校送迎時や文書、電話等で情報共有を行っている。		今後も情報共有を行えるよう連携をとっていく
	3	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制の整備	協力医療機関に施設への訪問を行ってもらい児童の健康管理を月一回行っている。		今後も連携を強化していく
	4	児童発達支援事業所からの円滑な移行支援のため、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校(小学部)等との間での支援内容等の十分な情報共有	学校や認定こども園等と、各児童の支援をよりよい支援にするために文書や電話等により情報共有を行っている。		今後も情報共有を行えるよう連携をとっていく
	5	放課後等デイサービスからの円滑な移行支援のため、学校を卒業後、障害福祉サービス事業所等に対するそれまでの支援内容等についての十分な情報提供、	未実施		今後、移行支援の内容について情報を入手し、提供できるよう努力していく
	6	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携や、専門機関での研修の受講の促進	重度心身障害児研修、医療的ケア児研修など積極的に受講している。		引き続き研修等に参加し支援の質の向上を図っていく
	7	児等発達支援の場合の保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合の放課後児童クラブや児童館との交流など、障害のない子どもと活動する機会の提供	現在は児童クラブや児童館との交流など、障害のない子供と活動する機会の提供は行っていない。	いいえ・・・1名 わからない・・・10名	活動する機会を今後検討していく

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
	8 事業所の行事への地域住民の招待など地域に開かれた事業の運営	夏祭りやイベント等地域住民に呼びかけをし、運営している。		地域とのつながりをもてるよう努力したい
保護者への説明責・連携支援	1 支援の内容、利用者負担等についての丁寧な説明	契約時に説明を行っている。質問等があればその都度回答を行う。	はい・・・8名 わからない・・・3名	
	2 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を示しながらの支援内容の丁寧な説明	計画書を示しながら支援内容の説明を行っている。	はい・・・8名 わからない・・・3名	定期的に説明していく
	3 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対するペアレント・トレーニング等の支援の実施	現在実施していないが今後行っていく。	はい・・・1名 どちらともいえない・・・1名 いいえ・・・1名 わからない・・・5名	今後計画していく
	4 子どもの発達の状況や課題について、日頃から保護者との共通理解の徹底	連絡帳や送迎時に状況や課題について報告し、共通理解がもてるようにしている。	はい・・・6名 どちらともいえない・・・1名 いいえ・・・1名 わからない・・・3名	よりよい支援ができるよう日々の報告を細かくしていき情報共有していく
	5 保護者からの子育ての悩み等に対する相談への適切な対応と必要な助言の実施	保護者からの相談窓口を設け、その都度必要な対応を行っている。	はい・・・2名 どちらともいえない・・・3名 いいえ・・・1名 わからない・・・5名	相談があればその都度しっかり支援をしていく
	6 父母の会の活動の支援や、保護者会の開催による保護者同士の連携支援	未実施	どちらともいえない・・・1名 いいえ・・・4名 わからない・・・6名	今後開催していく
	7 子どもや保護者からの苦情に対する対応体制整備や、子どもや保護者に周知及び苦情があった場合の迅速かつ適切な対応	苦情窓口を設けその都度適切な対応がとれるようマニュアル化している。	はい・・・5名 どちらともいえない・・・1名 わからない・・・5名	相談しやすい関係づくりを築いていくように努める
	8 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮	連絡帳や電話連絡、メール等により情報伝達できるようにしている。	はい・・・8名 わからない・・・3名	今後も継続的に情報共有できるようにしていく

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
	9	定期的な会報等の発行、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報についての子どもや保護者への発信	予定表、毎月のおたよりを作成し発信している。	はい・・・8名 わからない・・・3名	今後も継続的に活動内容を発信していく
	10	個人情報の取扱いに対する十分な対応	スタッフの個人情報管理研修を行い、取扱いについて理解を徹底している。	はい・・・6名 わからない・・・5名	今後も継続的に情報管理研修を行い取扱いに注意していく
非常時等の対応	1	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルの策定と、職員や保護者への周知徹底	危機管理マニュアルとして作成をし、保護者へお渡ししている。職員研修を行い周知を徹底している。	はい・・・6名 わからない・・・5名	定期的に職員への啓発を行っていく
	2	非常災害の発生に備えた、定期的に避難、救出その他必要な訓練の実施	6カ月に一度の避難訓練を行っている。	どちらともいえない・・・1名 わからない・・・10名	定期的に避難訓練を行っていく
	3	虐待を防止するための職員研修機種の確保等の適切な対応	虐待防止の研修を行い職員の虐待防止への認識を徹底して行っている。		今後も虐待防止の研修を行い職員の認識の強化を図る
	4	やむを得ず身体拘束を行う場合における組織的な決定と、子どもや保護者に事前に十分に説明・了解を得た上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画への記載	やむを得ず身体拘束を行う場合における保護者への説明、計画書への記載を行い、日々の拘束の記録を行っている。		今後も継続的に日々の拘束記録の記載を行っていき緩和できるよう見直しを図っていく
	5	食物アレルギーのある子どもに対する医師の指示書に基づく適切な対応	医師の指示書に基づき支援を行うようにしている。		アレルギーのある利用者に関しては徹底して職員間で情報交換を行い支援していく

区分		チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
	6	ヒヤリハット事例集の作成及び事業所内での共有の徹底	ヒヤリハットの作成を行い職員間で共有徹底をしている。		ヒヤリハットの情報を職員間で認識し今後の対策を話し合い実施していく